

星稜サ・エ・ラ

稲置学園 INAKIGAKUEN NEWS LETTER

SEIRYO ÇA ET LÂ

No.8

2008

CONTENTS

新年を迎えて

Special Issue

地域と「星稜」その活動

星稜 hunt up

北陸のユビキタスをめざして

バトンエッセイ

金沢城の金谷出丸跡をめぐり

星稜アレコレ

金沢星稜大学

星稜女子短期大学

星稜中学・高等学校

星稜幼稚園・星稜泉野幼稚園

星稜Information



学校法人 稲置学園

新年を迎えて



学校法人稲置学園理事長

稲置 美弥子

明けましておめでとうございます。

昨年は、食品の偽装、年金記録の不備、防衛省元事務次官の汚職など、「偽り」「不正義」「不誠実」が横行しました。嘆かわしく、不安の多い一年であつたように思います。また、能登半島地震が甚大な被害をもたらしました。地震で罹災された学生、生徒のご家族のみならず、教職員のみならずには、学園としてもご支援させていただきました。罹災された地域の完全な復興を心からお祈り申し上げます。

教育界に目を移しますと、少子化が進み教育関係でも規制緩和や法律の改正がなされ学校間の競争が一段と高まり、常に評価・改善していかねければならない状況になっています。稲置学園も、これらの問題や課題を解決し、さらなる教育の充実・発展に努めてまいります。

改革、改善をさらに進める大学

昨年4月、こども学科とスポーツ学科からなる人間科学部がスタートし、経済学部と合わせ入学

者が増加しました。同11月には日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価の实地調査を受け、これを一つの区切りとし、教員のFDの義務化や事務職員の専門性向上等に対応できる改革をさらに進めます。また、創立40周年と新学部設置の記念に、地域の方々に親しんでもらえる両学部のレストランキャラクターを公募し、昨年10月に誕生させました。

大学院は本年4月より、「地域経済システム研究科」から「経営戦略研究科」に名称を変更します。今、社会が問題としている地域間格差、地域の活性化・再建などの問題を具体的に研究することを重要な課題と捉えています。

活力あふれる短大

これまでも時代が求める優秀な人材を育成するために、最新のカリキュラムを実践してきました。より専門的な知識と実務能力を育成するため、本年4月、経営実務科は従来の3コース制から5コース制に変更します。学外での体験を通して人間



性を養う「セミナーコミュニティ」は、幅広い活動により社会から評価を得ています。

県内唯一の女子大学であることを「強み」に、これを活かした新たなカリキュラムを実施し、人間性とビジネススキルを併せもった人材を育む場として、さらなる教育環境の充実に取り組みます。

「文も武も」の高校・中学

星稜高校入学者のうち、専願者が年々増えています。これを、星稜高校に対する期待と受け止め、特色ある教育をさらに推進していきます。コース制の導入によって、教育効果を上げることができました。結果として、国公立大学や難関私立大学へ多くの合格者を出しました。部活動では、サッカー部、野球部、陸上部、トランポリン部など多くのクラブが全国の舞台で活躍し、「星稜」の名を全国に轟かせています。サッカー部から9人目のJリーガーが誕生しました。

中学においては、生徒一人ひとりを大切にしたいと、きめ細やかな指導が評価されて、近年の受験者数の増加に表れているといえます。中高連携の6ヵ年教育も、大きな成果を上げています。昨年、野球部は全国優勝を果たしました。これに続く他のクラブも頑張っています。社会で問題とされる種々

のことにしてもしっかりと向き合い、豊かな人間性を育む教育をさらに充実させるよう取り組んでいます。

多様なニーズに応える幼稚園づくり

少子化や核家族化などの社会環境の変化と、幼稚園に対するニーズの多様化が進んでいます。集団での遊び、自然との触れ合いなど、幼児期に体験すべき大切な学習の機会や場を充実させます。園児の成長を促し豊かな人間性をはぐくむため保護者及び地域との連携を図り、みんなで頑張りましょう。

建学の精神の実践

「学生、生徒等を選ぶ学校」から「学生、生徒等を選ばれる学校」に変わってきていることはご存知のとおりです。社会の要請に応える教育の推進と研究活動の実践、さらに地域貢献行うことで、社会に評価されることが重要です。建学の精神「誠実にして社会に役立つ人間の育成」の下、特色を生かした活力ある学校・学園づくりに一体となって取り組みましょう。

年頭にあたり日頃から感じていることの一端を申し述べました。

本年も皆様のご理解とご協力をお願いします。

地域と「星稜」その活動

金沢星稜大学・星稜女子短期大学・星稜高等学校は従来から地域における活動を積極的に行ってきた。とくに金沢星稜大学では平成19年度、石川県が委託する大学コンソーシアム石川の「地域課題研究ゼミナール支援事業」に4件、「地域貢献型学生交流プロジェクトモデル事例」に1件採択され、活発な研究を行っている。こうした研究は、地域に貢献すると同時に実践力を持つ人材の育成にもつながるもの。平成19年度、「星稜」が行った主な地域交流・支援活動のいくつかを紹介します。



学生たちはこの事業によって穴水町との交流を深めることができ、町の活性化とは人的交流の活性化であることを実感。今後も「元気な穴水町」へ向けて活動を進めていく。(大学コンソーシアム石川の「地域課題研究ゼミナール支援事業」)



能登町石井祭り。キリコをかつぐ町民と学生

学生たちはキリコ担ぎを楽しむ一方で、安全面には問題があるとの感想を持った。そこで、能登町に対し、体験参加の安全性を図るために事前にキリコを担ぐ実習を行うとよい、参加者は祭りの伝統やキリコの構造に関するレクチャーを受けておくとよい、などの意見があった。学生たちは奥能登の文化を肌で感じ、地域との交流を温められたことに喜び、この体験・研究はたいへん貴重な経験になった、としている。(大学コンソーシアム石川の「地域課題研究ゼミナール支援事業」)

能登町

キリコ祭り体験による地域振興策の探求

堂下恵ゼミでは、奥能登キリコ祭りへの観光客参加による地域振興策について研究を行った。学生16名は、7月27日～29日に能登町の石井祭り、8月15日～16日に同町の矢波祭りに参加。住民からは担ぎ方を教えてもらったり、ねぎらいの言葉をかけられたり、と歓迎された。

大

穴水町

穴水町振興へ繋がる「あなみず街並み道の駅」

池田幸恵ゼミでは、穴水町において地震の復興支援を含めた商店街活性化策に取り組んだ。穴水町には自然や歴史などの豊かな資源があるが、その良さを十分には利用されておらず、商店街は以前の低迷に加えて被災のダメージが大きい。しかし、能登空港、のと鉄道、能登有料道路が隣接集合する奥能登の玄関口に位置している。そこで、地域と観光客とが交流できる「あなみず街並み道の駅」を提案。それは①交通拠点、②図書館や公民館と情報・交流スペースの複合的施設、③商店街に隣接して商店街全体を道の駅の店舗とする、④防災機能を持たせる、⑤地域のコミュニティの場などの具体案を示した。

大

白山市白峰

白峰の資源を生かした活性化の策定

小坂修ゼミは、白山市の白峰地区の活性化策に取り組んだ。白峰の自然や文化などを生かした9つの提案を元に、白峰の観光担当者や意見交換を行った結果、2つの提案を具体化することになった。一つめの「白峰四季の花々の里」は、花のプランターを配して古民家の町なみを演出する計画。その作業では、植物採取に手間とったり、プランターの設置を望まない家があったり、といった苦労があった。次年度はそれらの対策を講じ、ゆくゆくは、白峰の主體的な活動となるように働きかけていく。二つめの「日本でも美しい村」連合への加盟も、白峰全体の意思決定が前提である。

小坂ゼミでは、地元とより良い関係を築き、継続して白峰の活性化に寄与したい。(大学コンソーシアム石川の「地域課題研究ゼミナール支援事業」)



街角に飾られたプランター

地元の野辺に咲く花をプランターに移植する学生

大

中能登地区

短

草の根交流サミットからの能登活性化策

大森重宜教授、辻建一、田島良輝講師のセミナー「コミュニティ「スポーツ&文化」グループは、国際観光による能登活性化について研究を行った。

国際草の根交流センターでは、1991年より毎年、日米草の根交流サミット大会を開催しており、2007年は6月に能登で開かれた。星稜女子短大生21名はボランティアとして会場設営やアメリカ人たちの出迎えを手伝い、英語のアンケータを実施。クロージングセレモニーでは、



日米のアトラクションを楽しみ、アメリカの人たちと交流のひと時を過ごした。

9月には、アメリカ人を受け入れた家庭を調査し、今回のサミットの成果をもとに、能登の観光素材の活かし方を研究。こうした交流から、学生たちは社会性やマナーを磨くこともできた。今後も調査研究を継続し、平成20年度に新設される観光マネジメントコースのプログラムとしても活用していく。

七尾市南大谷地区

短

中島菜カレー弁当、コンビニで販売

安藤信雄講師のセミナー「コミュニティ「地域ビジネス」グループは、七尾市南大谷地区の活性化策として能登野菜を使ったコンビニ・カレー弁当を開発した。一年生8名は、カレー作りの実習から始まり、アイデアレシビづくり、弁当のパッケージ選び、宣伝用のリーフレット作成、コンビニとの交渉までを手がけた。12月の報告会で3品のカレー弁当を発表し、そのうちの「Wカレー（仮称）」が、中島菜入りのグリーンカレーとチキンカレーの2種類を楽しめる点を評価され、商品化が決定。来る2月12日から25日、北陸三県のサークルKサンクス400店で販売される。



カレー食材中島菜の現地取材と収穫体験

今回、多方面からの協力が得られ、学生たちはそうした共同作業から多くを学んだ。来年度に向けてすでに石川県農林水産部や能登野菜振興協議会から協力の申し出があり、「地域ビジネス」グループのさらなる活躍が楽しみだ。

羽咋市柴垣海岸など

大

学生も奮闘！クリーン活動

「クリーン・ビーチ石川」は、毎年10万人以上が参加する海岸清掃のボランティア活動だ。池田幸應教授はその実行委員会のアドバイザーであり、学生クリン・ビーチいしかわ実行委員長でもある。平成19年度も、クリン・ビーチの関連イベントが活発に行われた。

5月27日、下安原、専光寺、打木の海岸線約9kmを清掃する「グリーン・ビーチいしかわinかなざわ」。本学の学生約40名は打木の海岸を担当した。9月29日、海と親しみながら学生の社会活動ネットワークを図る「学生クリン・ビーチいしかわ大作戦2007」。羽咋市の柴垣海岸で清掃を行い、砂浜のゴミを利用した砂像を制作。千里浜砂像協会の会長さんや能登青少年交流の家の職員の方の講演等も拝聴した。9月30日、「エコ・フェスタ



打木海岸での学生のエネルギッシュなクリーン活動



加賀市大土町

大

大土町の郷土料理&体験のデータベース計画

大数多可志ゼミでは、加賀市大土町の訪問者増加策について研究した。

中山間村の大土町は9戸の民家が残り、住人がいるのは2戸のみだが、炭焼き、山菜、自然、古民家などの観光資源があり、憩い・癒しゾーンとしての資質を備えている。

11月、学生たちは、地元と協力して郷土料理を作り、収穫祭を開催、料理は参加者に好評だった。そこで、大土の郷土料理のデータベースを作り、インターネットを介して予約できるシステムを考案。これに、炭焼き、農作業、トレーニングなどの体験を組み合わせていく。さらに大土へ人を集めるには、住民が訪問者ニーズに合うメニューを揃え、風景や環境を保持し、もてなしの心を持つこと、また、各種団体への呼びかけも必要である。今後も、大数ゼミでは大土地区での憩い・癒しゾーンの実現に向けて活動を続ける。（大学コンソーシアム石川の「地域課題研究ゼミナール支援事業」）



収穫祭／地元の方々と協力して作った郷土料理を賞味する学生たち

御所町

大

伝統の御所町獅子舞の継承とマネジメント

宮崎正史、谷中優の両教授は、「御所町獅子舞の実践と継承」をテーマとするフィールド基礎演習の事前取組みを御所町獅子舞保存会と行った。

加賀の獅子舞は、加賀藩が、獅子舞に見せかけて密かに武術の稽古をさせたことに由来するが、現在、その獅子舞の芸能を継ぐ地区は少ない。御所町では獅子舞保存会が「坂本合羽流」という流派を継承しており、6月の百万石祭りや10月の加茂神社の秋季大祭で披露される。学生たちは獅子舞や加賀藩の歴史などについて学び、御所町獅子舞の町内巡行に参加する予定である。今回はその準備のために練習から秋本番までをビデオで記録した。百万石祭りでは、尾山神社の祭礼学習で短大の大森重宜教授が中心となり学生たちが「御鳳れん」神輿の担ぎ手として参加する予定である。

小坂・御所町

大

御所八塚山の子ども森構想

池田幸應教授、永坂正夫准教授は、小坂公民館（館長・谷村昭雄稲置学園理事）が行う「子どもの居場所・御所八塚山の研究」に地域の多くの方々とともに参加協力している。

平成15年、地域の子どもの遊び場所に関する調査を行ったところ、星稜高校の背後にある「御所八塚山」の名が浮上した。かつては、子どもだけでも遊びに行ける場所だったが、現在は手入れが悪く、クマの出没騒ぎもあって、子どもは立入りできない。

そこで、再び「御所八塚山」を学習や遊びに利用できる場所とするため、「御所八塚山・

子ども森（仮称）」構想が動き出した。クマ出没防止策としてヤブ刈りをし、林道を整えた上で、①山間の植物の名札を掲げ、説明パンフレットを作る、②「御所八塚山古墳群」の紹介書を作る、③鳥の生息について調べる、④ヤマザクラの分布図を作るなどが立案された。今後も、石川県、金沢市の担当部署や近隣小学校、地域住民の方々と連携を深めながら「御所八塚山・子ども森」の実現に向けて鋭意取り組みは続けられる。



八塚山を調査する実行委員

三口新町

大

世代を結ぶ地域コミュニティの構築

今日、高齢者の孤立、家庭内暴力、子供への虐待などの社会問題に対し、地域全体による取り組みが求められている。そこで、澤信俊ゼミでは教育現場を中心とした地域コミュニティづくりを試みた。

末広保育園の協力を得て、園児と地域の高齢者との交流を促す2つのイベントを実施。第一の企画「ふれあい傘記念日」は、金沢和傘に、園児と高齢者が色



末広保育園の園児とともに和傘に色をぬる学生

を塗る体験イベントである。金沢和傘は希少伝統工芸品の一つで、園児が伝統の良さを感じることこのイベントのポイントだ。第二の企画「加賀野菜パーティ」では、園児と高齢者たちが五郎島金時のシャベットを作り、それを味わいながら、完成した和傘をお披露目した。このような地域に役立つモデル事例を実施でき、学生たちには充実した体験になった。（大学コンソーシアム石川「地域貢献型学生交流プロジェクトモデル事例」）

御所町

陸上教室“かけっこ塾”

9月17日、稲置学園総合運動場にて、小学生を対象とした陸上教室“かけっこ塾”が開催された。かなざわ総合スポーツクラブと短大スポーツマネジメントコース、大学陸上部、大阪世界陸上に出場した大学の杉林孝法講師らが協力し、参加した12



5名の小学生の指導を行った。“走る”“投げる”“跳ぶ”といった運動の基本動作について学年に応じたプログラムの提供を心がけた。参加者からの継続的な教室開催の要望により、定期的に開催していく。



学年ごとに分かれ説明を聞く参加者（総合運動場にて）

短

御所・小坂町

通学路を
ボランティア清掃

高校2年生（Bコース）では、総合学習の一環として学校周辺及び東金沢駅までの通学路の清掃を毎年、年一回行っています。



高

木ノ新保（JR金沢駅）

チャリティーコンサート

星稜高校吹奏楽部、インターアクト部、香林坊ロータリークラブが協力し、NHK歳末助け合い運動としてコンサート及び募金活動を行っている。

今年度は12月16日に金沢駅鼓門にて行った。

このチャリティーコンサートは10年以上行っており、4年ほど前からインターアクト部が参加、同時期に香林坊ロータリークラブも賛同して



いただき、以来協力して行っている。定期演奏会では金沢市文化ホールを毎年満員にする星稜高校の吹奏楽部ならではの素晴らしい演奏とクリスマスらしい赤い帽子の演出で人々をひきつけ、インターアクト部とロータリークラブの大きな声での呼びかけに、たくさん募金が集まった。

高

小坂・御所町

地域防犯の一助に活躍、さわやかパトロール隊

平成19年5月14日、星稜高校生による自主防犯組織「星稜さわやかパトロール隊」が発足した。自転車防犯防止と地域の治安向上をめざし、各学期1回、下校時に東金沢駅駐輪場前で傘さしや二人乗りの禁止を指導。同時に学校周辺の清掃も行う。



7月2日には、小坂地区の青少年健全育成推進協議会とともに、自転車の盗難防止とマナー向上を呼びかけた。金沢東警察署とも連携して、防犯意識を高める広報活動や自転車防犯診断にも参加した。高校生による防犯組織は県内では初めてで、地域からは「若い世代に防犯意識が広まるきっかけになってほしい」と期待を寄せられている。

高



北陸のユビキタスをめざして

金沢星稜大学大学院は、2008年4月、地域経済の担い手の育成と、
地場産業の再生をサポートするシンクタンクをめざし、
研究科名称を「経営戦略研究科」と改称。
改革を進める大学院について原耕平研究科長に伺いました。

“数値を読む”ことが
できる、地域経済の
リーダーを育成

今、世界中で経済格差が広がっています。日本においても首都圏への一極集中が進み、地域格差が顕著になっていきます。石川県も例外ではなく、企業の支店撤退などが目立つようになりまし。さらに、2000年からは県外との商品やサービスの取引が赤字に転じています。北陸三県の中核である金沢周辺には大型商業施設が進出し、盛況を呈していますが、あの収益は地元に入るわけではありません。一方で、地域の自営業の落込みは深刻です。地域経済が弱体化すれば雇用も減少し、学生は東京など中央へ出て行ってしまう。これは地域経済の低迷は一向に解決しません。

地域経済は従来、自営業や中小企業が支えてきました。今日、企業経営に国際的な金融市場や為替市場の情報分析は不可欠ですが、そうした中小企業では十分な情報吸収ができません。そこで、私たちの研究科では、経済・経営分野の数値を読み、問題を実践的に解決できる人材、地場産業の継承者となるべき人材を育てたいと考えています。

また、少子化にもかかわらず、フ



が輩出する人材と企業の求める人材とが一致していないということ。企業が必要とする人材を育成することも、私たちの重要な役目といえます。

経済界のブレーンと
なつて星稜のステイ
タス確立をめざす

日本では中小企業が全事業所の約98%を占めており、いわば日本経済の主体です。私たち経営戦略研究科は、経営環境や財務・税務などについて、地元の経営者や商工会と共に考えるシンクタンクのような存在をめざします。

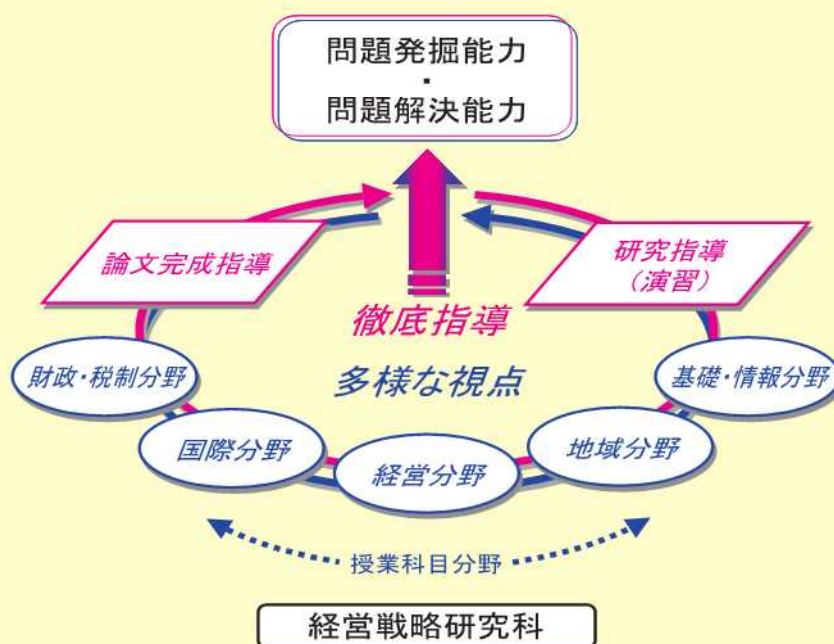
学生にとっては、私たち指導陣の
コンサルタント活動から多くの実務

的な事例を学びとることでしょう。
すなわち、金沢星稜大学大学院は、
地域企業の経営戦略におけるさまざま
なノウハウを実践研究を通して蓄積し、
地域経済の活性化をサポートするユビキタスのコア、すなわち地域のデータベースになりたいと考えています。

に貢献することこそ、大学院の存在意義があるともいえます。
地域経済社会が変革を迫られている今、私たちも地域社会と共に、実践的研究と活動に邁進する大学院へと変革すべき時を迎えているのです。

※1 シンクタンク…頭脳集団
※2 ユビキタス…いつでもどこでも
誰でも情報を手に
することができ

〔教育・研究課程の概要〕



金沢城の金谷出丸跡をめぐり

金沢星稜大学特任教授

田畑 勉

十月のある日、私は国の重要文化財に指定されている神門を仰ぎ見ながら、石段をゆつくりのぼって通り抜けると、いつものように、正面に尾山神社の本殿、右手に池泉式庭園の広がりが目に入る。半年ぶりになるうか。紅葉をはじめた木々の景色や、行き交う人々のざわめきが、短い間でも、月日の確かな過ぎ去りを感じさせる。

ここが、藩政時代には、金沢城の西側の防備を補強する金谷出丸（かなやでまる）の地にあたっている。周囲に堀をめぐらし、背後の東に架かる鼠多門橋（ねずみたもんばし）によって、玉泉院丸（ぎよくせんいんま）とつながるこの砦（とりで）は、金沢城の攻防戦ともなれば、真つ先に最前線の一つになったはずだが、それをしのぶ名残はない。

もともと、藩政時代といえば、戦がないという意味に限られるが、式

百数十年にわたって平和が続いた、世界的にもめずらしい時期であった。そのため、金谷出丸も早くから砦の意義を失い、前期の頃にはすでに文庫がおかれ、中期以降には、藩主の後継ぎの世嗣（せし）や隠居した前藩主・前藩主夫人らが居住する、穏やかな地であった。そういえば、かつて、この金谷出丸に造営された屋敷の一例を調べた（拙稿「弘化期における金谷御殿の増改築について」、『金沢城研究』第二号）ことがあるの思い出す。

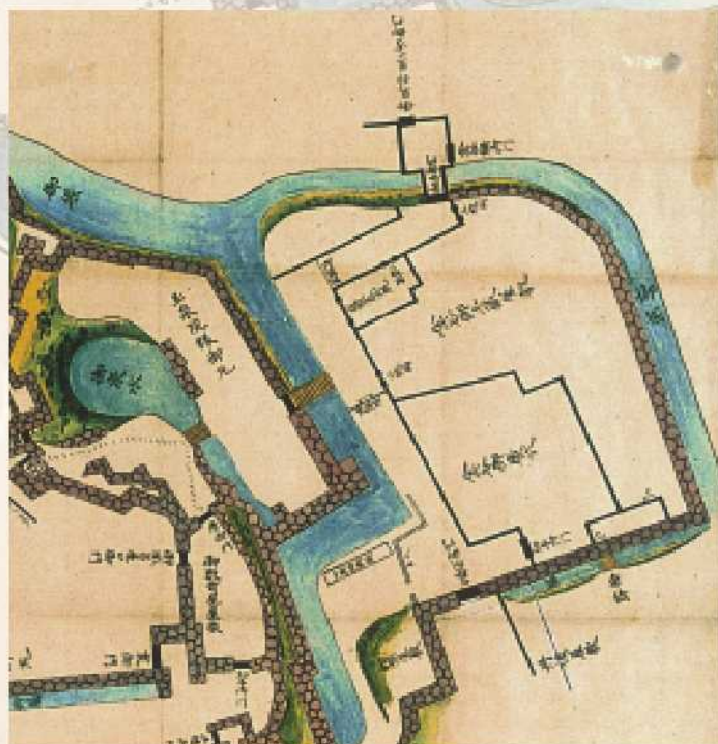
天保元（一八三〇）年、江戸藩邸で誕生した十三代藩主斉泰（なりやす）の世嗣犬千代（後の十四代藩主）が、元服して筑前守慶寧（よしやす）と改め、弘化元（一八四四）年、はじめての帰国が見込まれるようになる。藩では、帰国した慶寧の住居を、当時、金谷出丸に居住する真龍院（十二代藩主斉広未亡人）の屋敷に、継ぎ足し

て造営することになる。これは、共用できる部分を生かすなどして、造営費用を「御事輕（おんことかる）」＝節約し、予算額を「御建継入用三百貫目余（標準換算によれば、金五〇〇〇両）」にとめることになった。同年十一月、造営工事のスタッフが決まり、実務担当者が費用を銀三九三貫目余（同六五〇〇両ほど）と見積もる。これは、予算額を銀九三貫目（同二五〇〇両ほど）超過することから、使用する「松材木」の藩有林からの調達、兼六園中の竹沢御殿の「御建具等」の利用、天井・柱の樅材の使用などの工夫もしたが、それでも、再度の見積額が、銀一一貫目減の銀三八二貫目（同六四〇〇両ほど）であった。

再度の見積額よりも銀六四貫目余（同二〇〇〇両ほど）超えるものであった。世嗣の住居にしては、随所に費用節減がはかられるが、全国二七〇余藩中、最大の加賀藩とはいえ、天保六（一八三五）年に、借財銀高が九万一千八百五貫目余（同二五三万両ほど）に増大し、弘化二年に「御利息一ヶ年分三千五百六十六貫目（同六万両ほど）」におよんでは、やむをえなかったであろう。

造営業務がすべて終わった一月は

と後の同年八月十九日、十六歳という、まだ少年の慶寧は江戸藩邸をたち、半月ほどの旅路の末、九月六日（以上旧暦）に金谷御殿、私がたたずむこの地に、ちょうど今頃到着している。後年、明治維新期の難局に立ち向かう、英明とうたわれた慶寧は、なにを思ったであろうか。ただ無事に到着の安堵感以外なかったのではなからうか。



金谷出丸（『金沢城之図（津田文庫）』・金沢市立玉川図書館所蔵）

アコレ 星稜

★ 学生と教職員が協力 一斉クリーン活動

学生・教職員で構成する「三者連絡協議会」の呼びかけで、大学施設内外一斉美化・クリーン行動(ゴミやタバコの吸殻拾いの一斉行動)が行われました。

毎週火曜日と木曜日の昼休みに学生・教職員が協力して、学内の講義室及び大学周辺のゴミやタバコの吸殻等を分別しながら拾います。
自分たち自身の行動でクリーンなキャンパスを実現しようという一斉行動です。よ

り多くの学生や教職員のマナーを守る意識や美化の意識、ルールを守る意識が向上することを願い、今後も継続して行っていく予定です。

※この活動は金沢市の公共マナー向上を目指す「グッドマナー実践都市宣言」を实践するものでもあります。



短 『震災復興と震災に強い街づくり』 経営学会講演会開催

12月12日(水)、経営学会主催による第12回公開文化学術講演会が開催されました。学生、教職員をはじめ、日本防災士会石川県支部の方々など多数の出席がありました。

能登半島地震で、被災された方々や地域に対して、何が出来るかを考えたいとの思いから、『震災復興と震災に強い街づくり』をテーマに、防災活動と地域振興で全国的に活躍されている藤村望洋氏をお招きし講演いただきました。

講演の中で早稲田商店街の取組や全国的な防災ネットワーク構築などの活動が紹介されました。また、藤村氏は「防災活動および集作りとその周辺整備は一体である」と指摘され、防災とは、何か特別なことではなく、日常的な地域活性化活動の中で実現していくものであることに気付かされました。



短 Seminar Community 一斉セミナーコミュニティ

学生考案 カレー弁当販売決定



「地域ビジネス」グループ(担当…安藤研究室)では、七尾市南大谷地域の村おこしを目的に、七尾市特産の中島菜を活用したカレー弁当をサークルKサンクスとの産学連携で開発しました。12月5日(水)の最終報告会には関係各界から60

名以上の方が出席され、最終商品化採用作品が選定されました。出品したのはガラムマサラ、C-U、JEM☆の3社(仮想学生企業)で、選ばれたのはJEM☆社のカレー(写真)でした。

サークルKサンクスの販売事前調査では、「カレー弁当としては異常値の数量、店1日あたり10個以上の注文量が見込まれる」とのこと、学生をはじめ、南大谷町会および産学連携に携わっていただいた多くの関係者の期待も高まっています。追い風を受け

てサークルKサンクスでは、星稜女子短大の学生が登場するラジオCMを制作し急遽放送を決定。1月23日にはCM収録が行われました。

2月11日(月・祝)には、いしかわシティカレッジで「新商品発表記者会見」を行います。発売期間は2月12日(火)から25日(月)の2週間の期間限定、北陸三県サークルKサンクス400店舗で販売します。星稜女子短大の学生が考案した「能登を元気に」するカレー弁当を、ぜひ皆さん、食べてください。

★ 4年間の集大成

卒業論文発表会開催

12月19日(水)、4年生対象の卒業論文発表会が行われました。学生たちは、10分間の持ち時間を精一杯利用し、パワーポイントなどを利用しながらゼミナールでの研究成果を発表しました。興味深い卒業テーマが並び、3年生以下の学生も聴講していました。

質疑応答では、会場からの鋭い指摘を受ける場面もありました。4年生は発表後も研究を続け、2月の卒論完成を目指します。



★中★ 大学留学生と星稜中学生との交流会開催

星稜中学生と大学留学生の交流会が12月18日(火)星稜中学校で行われました。大学からはキムセウンさん(韓国)、ラガケイさん(台湾)、シドロア・アリヨナさん(ロシア)、トウウンシヨウさん(中国)が参加しました。

母国の位置の説明や、挨拶の仕方、日本に来て感じたことなど、自らの体験を話して

いました。生徒からも発言や質問があり、充実した交流会となりました。



★中★ 学校見学会開催

11月23日(金)・祝学校見学会が開催され、昨年を上回る112名の参加がありました。入試説明・学校紹介の後、中学校の英語体験、お菓子作り、

★ 昨年を上回る参加者

おもしろ実験、コンピュータグラフィックス作成などを中学生と一緒に体験しました。午後からは希望者が部活動の見学をしました。



見学会の案内役を1年と2年のA組の生徒が務め、「大変素直で親切だった」と参加された保護者からの評判も上々でした。

★大★ 国内旅行業務取扱管理者試験に8名が合格！ 宅建に3名合格！

国内旅行・観光業務に不可欠な「国内旅行業務取扱管理者試験」に8名(3年生4名、2年生4名)が合格しました。合格率は、全国平均46.0%を大きく上回る88.9%です。また、この中から、同時に海外旅行業務取扱に必要な「総合旅行業

務取扱管理者試験」にも2名が合格しました。また、不動産業界では必須資格である宅地建物取引主任者。この資格試験の受験者は毎年20万人で、合格率は平均15%(石川県13.5%)の難関ですが、3名が見事合格しました。

★中★ 総合学習発表会開催

12月1日(土)総合学習発表会が稲置講堂で行われました。

総合学習のねらいは、学び方を学ぶことを目標に、教科で学べない課題をみんなで挑戦して、どうやって学ぶかを見つけていく力を養うことができるようになることです。4月から、生徒たち自身で決めた課題に対して、イン

ターネットを利用して調べたり、アンケートを取ったり、実際に現地に赴いて調べたりして、知識を深めてきました。どのクラスも一生懸命取り組みそのクラスの色が表れた良い発表となりました。

発表のテーマは次のとおり。
1年A組 未来、現代、過去の地球
1年B組 未来を築くニハールデザイン
2年A組 鎌倉について
2年B組 鎌倉について
3年A組 今と昔の衣・食・住・遊ぶ
3年B組 マナーにもマナーを!!

★中★ 縦割り班で体育大会



12月7日(金)、1年生から3年生で編成する縦割り班のチームで、球技大会が行われました。上級生、下級生との思も合い熱戦がくり広げられました。

〈3年女子感想〉 体育大会は縦割り班でした。普段はあまり一緒に活動する事の少ない下級生と一緒にしました。とても仲良くなれたので良かったです。

★高★ 開学40周年記念セミナー開催

金沢星稜大学の開学40周年を記念し、大学同窓会と高校同窓会の主催により、12月1日(土)、「地方活性化セミナー」が金沢星稜大学で開催されました。テーマは「未来・金沢 新しい街づくりの提言」です。

山下哲男星稜高等学校同窓会長が開会のあいさつ、鳥居茂金沢星稜大学同窓会長が開会のあいさつを行いました。県議会議員、市議会議員、県市職員や市民、学生など約250名の参加があり、盛会のうちに終わりました。

講演者は、国土交通省山本泰司課長補佐をはじめ、まちづくりの第一線で活躍されている4名の方々です。講演のあとのシンポジウムには、本学の早瀬勇学長がコーディネーターをつとめました。

また、馳浩衆議院議員・前文部科学副大臣、岡田直樹参議院議員、石原多賀子金沢市教育長の祝辞がありました。



鳥居 茂 大学同窓会長より

大学、高校合わせて4万1千名以上の卒業生を社会に送り出した「星稜ブランド」で、郷土・金沢へお役に立てたゼミナールと自負しています。

我々卒業生そして在学中の学生の皆さんが、金沢の新しい街づくりが提言だけで終わることなく成功事例をつくり続ける実践を担うことを期待するとともに、我々の使命であると考えます。本学同窓会が高校同窓会と協力体制で企画を試みたのは初めてのことで大変意義があり稲置学園から巣立った同窓生の結束にもつながったことと思います。

稲置学園をはじめ大学教職員の皆様に多大なるご協力を頂きました事、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

短 フィンランドより

日本学術振興会の国際交流事業の特定国派遣研究者として、平成19年9月1日から平成20年2月1日まで、フィンランドで「フィンランド式海洋汚染防除システムの研究を行う短大の沢野伸浩教授より、レポートが届きました。

9月1日より、フィンランド共和国エスポー市にあるVTT Research Centre of Finlandに日本学術振興会(JSPS)の特定国派遣研究者として5ヶ月間滞在し、現在、海の安全や環境保全に関する研究を進めています。この研究所は約3000人の職員・研究者を抱え、私のような外国籍の研究者も100人以上が在籍するなど北欧最大の規模を誇り、フィンランド国内だけではなく、スウェーデンやデンマークといった国々を含めた研究開発の拠点となっています。日本でフィン



私が毎日通勤している森の中には、こんなクマまでいます！



私の研究室。室内に固定電話はなく、職員は研究所から支給される無料の携帯電話(もちろんNOKIA)で互いに連絡を取り合います。プリンターやコピー、FAX、その他事務用品は使い放題、インターネットは超高速。日本語は使えませんが、フィンランド語・英語・スウェーデン語・デンマーク語・ノルウェー語の相互翻訳が可能な辞書システムなどがインストールされたパソコンがあり、非常に機能的です。

ランドといえば、携帯電話のNOKIAが頭に浮かぶと思いますが、NOKIAの本社はこの研究所から歩いて行ける距離にあります。

今自分が住んでいるアパートや研究所は、フィンランド国内でも最高の環境にあって、金沢でいうと金沢城公園を金沢市全体の面積に拡大し、そ

の中に人口20万人の都市と、研究所・大学を作った、といった感じでしょうか。今、研究所からアパートの15分のほどの距離を歩いて通勤していますが、途中に2つのヨットハーバーがあり、全体が公園の一部です。森の中の道を歩いていると、リス・キツネ・ウサギがよく顔を出します。こちらの野生生物は日本のように簡単に逃げません。木に登っているリスに触れるくらいまで近寄ると、ようやく逃げ出すくらいです。

私が住んでいる1階建てのアパートの屋上にはサウナが

あります。「サウナの日」というのがあって、自分の場合はそれが火曜日と決まっています。

火曜日の午後8時から1時間、屋上のサウナでゆつくりと時間を過ごすことができます。こちらのサウナは日本のサウナのように「ただ熱いだけ」ではなく、自由に温度が調整でき、背中から「ほんわり」と暖まるというような非常に心地の良いものです。また、アパートの屋上からはフィンランド湾が一望でき、対岸の国、エストニアを望むこともできます。

もう一つ、日本でフィンランドの話題といえば、「AmiのJub」世界一」がありますよね。しかし、こちらの誰に聞いても「AmiのJub世界大会」など知りません。あれはフィンランドの田舎の「盆踊り大会」の一つだということを知っていますか？ 実際、こちらには地域ごとにいろいろな「世界大会」があって、たとえば、「奥様運び世界一」や携帯電話投げ世界一」などが国中で催されています。まあ、どれか「世界大会」に出場すれば、誰でもとりあえず一つくらいは「世界一」になれそうです。

★ 人間科学部スポーツ学科企画 「星稜チャレンジ」 みんなで走ろう！

11月13日(火)から12月4日

(火)までの3週間にわたり、杉林講師の「基礎体力演習」で「Jog Jog」を使ったランニング競技会が実施されました。

Jog Jogは、Jog+というセンサーを使ってランニングの距離やペース、消費カロリーが計測できます。センサーと対応シューズを使い、教職員も参戦し、スポーツ学科の学生が走行距離を競いました。



◆個人優勝

300km 長瀬慶太さん

◆チーム優勝

768・27km NIKKE

★ 「人間科学会」発足記念公開講演会開催

11月20日(金)人間科学会の発足を記念し講演会「魔法はひとつ」が開催されました。講師に、「魔法の宅急便」の作者として知られる角野栄子先生をお招きし、誰でもひとつ魔法をもっている「をキーワードにファンタジーの世界から人間存在へのメッセージをいただきました。



★ 新人大会 (後期11月8日～11日)

○剣道部	男子団体	優勝
	女子団体	準優勝
○バレーボール部	女子	準優勝
○バドミントン部	女子団体	第3位
○空手道部	男子団体	組み手 第3位
	男子団体	形 第2位
	女子団体	組み手 第3位
	女子団体	形 第2位

■ 第58回全国高等学校駅競走石川県予選会

男子 第2位 区間賞 2区 山谷俊弥 6区 西盛啓矢
女子 優勝 区間賞 1区 岡本美鈴 3区 奥村麻由

■ 全日本ジュニア室内選抜テニス石川県大会

U18女子シングルス 優勝 宮下裕紀

■ 平成19年度石川県高校ダブルス選手権大会

優勝 林・宮下 準優勝 金平・吉田 第3位 村上・横野

■ 第30回全国選抜高校テニス大会北信越地区大会

女子団体 第3位

■ 第13回全日本トランポリントーナメント競技選手権大会年齢別競技

15・16歳の部 優勝 田崎勝史

■ 2007JOCジュニアオリンピックカップトランポリン

個人 男子の部 第4位 田崎勝史 第5位 吉村祐太

■ 第27回石川県高校囲碁秋季大会

D級 第1位 畑 紘貴

■ 高校総体 第44回石川県高等学校スキー選手権大会

男子 総合 第3位 アルペン 第2位
女子 総合 第3位 アルペン 第1位
女子スラローム競技 優勝 松下みなの
女子ジャイアントスラローム競技 優勝 松下みなの

★ 短 クラブ活動 大学と短大の混成チームで健闘!!

○バレーボール北信越リーグで2部に昇格!

平成19年10月25日(木)から28日(日)、第55回秋季北信越大学男女バレーボール選手権大会が富山市で開催され、大学と短大の混成チームで出場しました。

3部を全勝で勝ち抜き、決勝は、春の大会で敗れた相手で、今回も最終セットまでもつれる接戦となりましたが見事リベンジを果たし優勝し、2部への昇格を決めました。



2部昇格を果たしたメンバー

○4×400mリレーで日本選手権に出場

10月26日(金)から28日(日)、日本陸上競技選手権リレー競技大会が日産スタジアム(横浜市)で開催され、櫻井悠香子さん、野口莉那さん(ともに大学1年生)、稲本雅子さん、則島美里さん(ともに短大2年生)のオーダーで出場しました。

★ 9年連続 18回目 全国高校サッカー選手権大会出場

第86回全国高校サッカー選手権大会1回戦が12月31日(月)さいたま市駒場スタジアムで行われ、大阪代表の近大附属高校と対戦しました。星稜高校は前半30分に先制しましたが、後半20分に同点とされ、PK戦の末3対4で惜しくも初戦で敗退しました。



★ 7年ぶり4回目 全国高校駅伝に女子チーム出場

12月23日(日)に第19回全国高校女子駅伝が京都で行われ、星稜のランナーが冬の都大路を力走しました。

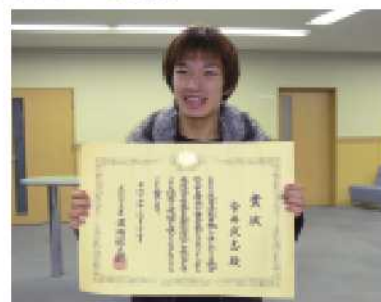
石川県高校女子最高記録1時間12分36秒の更新を目標に岡本(3年)、林(2年)、上出(3年)榊原(2年)、奥村(3年)のオーダーで臨みました。記録は、1時間13分52秒で41位でした。



3区 榊原選手

★ 全日本トランポリン競技選手権大会 17歳以上の部 優勝

11月23日(金)から25日(日)、第13回全日本トランポリントーナメント競技選手権大会が静岡県で開催され、今井武志さん(2年生)が17歳以上の部で優勝しました。



★ 北信越学生剣道新人大会 女子個人 優勝

12月2日(日)、第45回北信越学生剣道新人大会が福井県で開催され、女子個人戦で滝下彩乃さん(1年生)が優勝しました。



★親子で楽しむ つくしんぼ学級開催★

12月1日(土)園長先生を講師に、『木の枝を使って手作り人形を作ろう』をテーマに親子で製作をしました。

木の枝にひまわり、柿、あさがおなどの種や木の実など身近にある自然物をボンドでくっつけて耳にしたり、目にしたり、思い思いに表現していきます。

最初はとうとううにしようか迷っていた子も、くっつけていくうちにどんどんイメージが膨らみ、とてもかわいい木の人形ができました。親子で楽しい時間を過ごしました。



★今月は何の絵かな★

廊下に面したガラスに、毎月園長先生が絵の具で絵を描いてくれます。

園長先生が絵を描いていると、通りかかった子どもたちが気づいて足をとめます。「園長先生何書いているんだろうね。」子どもたちの想像が膨らみます。「あっ！サンタさん」「トナカイ・・・」「サンタさん ○○がほしいな」をお願いをしていた子もいたようです。先生も「○○がほしいな(笑)」叶えてもらえるかな!?



★サンタさんに大興奮 楽しいクリスマス会★

クリスマスに向けて、クリスマスソングを歌ったり、リースやクリスマスツリーなどの製作をしました。クリスマスへの期待もふくらみ、当日は朝からウキウキ ワクワクしていた子どもたちでした。

先生たちのキャンドルサービスでスタートし、歌やダンスを楽しみました。でも、なんといってもサンタさんに会えることを心待ちにしていた子どもたちは、サンタさん登場に大興奮。サンタさんから一人ひとりプレゼントをもらって「ありがとう」とにっこり。

ランチは大好きなものがいっぱい並んだバイキング。どれにしようかと迷う姿も(笑)。大好きなものをいっぱい食べてあっという間の楽しい一日でした。

☆ 星稜幼稚園



★朝顔のつるでリース作り★

21世紀美術館の「あさって朝顔プロジェクト」に参加して育てた朝顔のつるで年長さんがリースを作りました。毛糸を巻いたり、園外保育に出かけ見つけてきたどんぐりやつばきの種、まつぼっくりなど木の実や種、木の枝を飾りました。同じものが二つとない自分だけのリースはとってもステキ! 子どもたちも大満足の様子。飾るのが楽しみになりました。



★ハローサンタの会 サンタさんに大喜び★

12月20日(木)のハローサンタの会には子どもたち待望のサンタさんが星稜泉野幼稚園にやってきました。

先生たちによるクリスマスソングメドレーの歌やダンスを楽しみ、全員で大きなツリーも作りました。プレイルーム2階のバルコニーからサンタさんが「メリークリスマス」と現れると子どもたちの興奮もピークに……。サンタさんから一人ひとりプレゼントを手渡され、昼食は十数種類ものクリスマスバイキング。

お楽しみのギュッとつまった1日となりました。



☆ 星稜泉野幼稚園

★もちつき会★

12月6日(木)にお母さん方の協力でもちつき会が行われました。園長先生や運動手さんがついた後は、いよいよ子どもたちの出番です。

きねをふりあげペタンコペタンコ。おいしいきなこやあんこ、のりを巻いたおもちができました。

「6個もおかわりしたよ。」「あらあらおなかは大丈夫?」家庭ではしなくなったからこそ続けていきたい体験です。



大連工業大学と学術交流協定調印

1月18日(金)に、稲置美弥子理事長立会いのもと、金沢星稜大学と中国・大連工業大学の学術交流協定の調印が、早瀬勇学長、張 杰威理事長によって行われました。

調印式には大連工業大学の張 凤海管理社会科学学院院長、金沢星稜大学の坂野光俊副学長、日本海国際交流センターの古賀克己理事長らが同席しました。

この調印によって、両大学の研究や交流活動がますます活発となり、両大学並びに両国のため大きな成果があがることが期待されます。



早瀬学長と張理事長(右)



調印後マルチビジョン前にて

資格取得にチャレンジしませんか

～学生・生徒から一般の方まで～

星稜エクステンションセンター

資料請求用はがき

星稜エクステンションセンター
2008年度 開講講座パンフレット送付 **希望する**

皆様のご意見をお聞きし、内容をより充実させていきたいと思っております。下記のアンケートにお答えください。

- 1 星稜エクステンションセンターはご存知でしたか
はい ・ いいえ
- 2 今後、当センターで開講してほしい講座などありましたらご記入ください。(資格に限らず、文化、教養、その他の分野も可)
- 3 その他センターにご意見やご要望等あればご記入ください。

送付先	
〒	
住所	
氏名	年齢
連絡先	職業 (学校名)

申込時にご記入いただいた個人情報につきましては、案内資料送付のみ使用いたします。

学校法人 稲置学園
星稜エクステンションセンター部

星稜エクステンションセンターは、在学生及び卒業生の各種資格取得や国家試験合格に向けての支援事業を行っています。2008年度も、気軽に学べる教養講座から、国家資格まで、76講座を開講します。社会人・一般の方も生涯学習の場として、どうぞご利用下さい。(在学生保護者は特別料金)

講座のパンフレットを無料でお送りします。ご希望の方は、資料請求はがきに必要事項をご記入の上、郵送ください。

2008年度開講予定講座

パソコン・情報処理系講座

Word・Excel
Access・PowerPoint
初級システムアドミニストレータ など

会計系講座

簿記・税理士
ファイナンシャルプランニング技能士
コンピュータ会計 など

法律・国家資格系講座

ビジネス実務法務
宅地建物取引主任者
行政書士
社会保険労務士 など

販売・福祉・医療・環境系

販売士
福祉住環境コーディネーター
医療事務
色彩検定
ECO検定 など

語学・その他講座

日常英会話
TOEIC (初級・中級)
ファイリングデザイナー
電子化ファイリング
ビジネス能力検定
乗馬ライセンス など

星稜ワンカル(ワンコインカルチャー)講座

受講料500円の教養講座です。毎月1回開講

講座の詳細は、講座パンフレット、学園ホームページをご覧ください。

お問い合わせ

学校法人 稲置学園 星稜エクステンションセンター部
(金沢星稜大学 事務局内) TEL 076-253-3867
e-mail extension@seiryu-u.ac.jp

行事スケジュール(2~4月)

金沢星稜大学	
2月	(1月29日)~2月4日(月) 後期一斉試験期間 5日(火) セミナール大会発表 5日(火)~6日(水) サークルリーダー研修 7日(木) 学内合同企業説明会 12日(火)~25日(月) 一般入試B日程出願期間 18日(月)~29日(金) センター試験利用一般入試およびCDP特待生入試 C日程出願期間 25日(月)~27日(水) 追試験・再試験
3月	1日(土) 一般入試B日程 3日(月)~21日(金) センター試験利用一般入試およびCDP特待生入試 D日程出願期間 13日(木) 卒業認定発表 19日(水) 学位記授与式 22日(土) 新入生基礎学力テスト
4月	2日(水) 前期入学式 3日(木) 新入生学内ガイダンス 4日(金)~5日(土) 新入生学外研修(山中温泉) 7日(月) 前期授業開始 12日(土) 新入生歓迎祭 13日(日)~14日(月) 3年次専門ゼミナール研修(輪島市)

星稜女子短期大学	
2月	2日(土) 一般入試A日程・スカラシップ入試・長期履修学生入試・留学生入試 4日(月) 後期授業終了 5日(火)~12日(火) 後期審査 13日(水)~19日(火) 海外研修 13日(水) 春季休暇開始(~3月3日) 18日(月)~27日(水) 一般入試B日程およびセンター試験利用入試B日程出願期間 20日(水)~22日(金) 2年次追試験・再試験 27日(水)~29日(金) 1年次追試験・再試験
3月	1日(土)~3日(月) スキー研修 4日(火) 一般入試B日程 10日(月)~21日(金) 一般入試C日程およびセンター試験利用入試C日程出願期間 15日(土) 卒業式 25日(火) 一般入試C日程
4月	3日(木) 2年次オリエンテーション 5日(土) 入学式 7日(月) 1年次オリエンテーション 8日(火)~9日(水) 新入生宿泊研修 10日(木) 新入生歓迎祭 11日(金) 前期授業開始

星稜中学・高等学校	
2月	9日(土) 中学入試 12日(火)~16日(土) 高2P修学旅行 13日(水)~15日(金) 高1Pスキー・スノーボード実習 16日(土) 高校推薦・専願合格者入学説明会 20日(水) 中学スキー教室 23日(土) 中学入学説明会
3月	1日(土) 高校卒業式 3日(月)~6日(木) 高1学年末試験 3日(月)~5日(水) 中学学年末試験 10日(月)~14日(金) 高1AB修学旅行、高2学年末試験 14日(金) 中学卒業式 19日(水) 終業式 20日(木・祝) 高校入学説明会 22日(土) 高校二次入試 23日(日) 高校二次入学説明会
4月	8日(火) 中学、高校入学式

星稜幼稚園	
2月	1日(金) 豆まき会 6日(水) 保育参観(年長) 7日(木) 保育参観(年少) 8日(金) 保育参観(年中) 15日(金) 入園説明会 16日(土) 個人懇談会 18日(月) 交通安全教室
3月	3日(月) ひな祭り 7日(金) お別れ会 13日(木) 卒園式 24日(月) 終業式

星稜泉野幼稚園	
2月	1日(金) 豆まき会 2日(土) 個人懇談会 4日(月) とらいランド参観(年長) 13日(水) 入園説明会 16日(土) 個人懇談会
3月	3日(月) ひな祭り 5日(水) お別れ参観 7日(金) 年長組を送る会 13日(木) 卒園式 24日(月) 終業式

あとがき

2007年度最後の「星稜サ・エ・ラ」となりました。
特集では、地域の方々と協力しながら、地域が抱えるさまざまな課題に取り組んでいる活動を紹介しています。地域とともに歩み、貢献している学園の一端を表現しました。
2008度も、更に充実した学園の諸活動をお伝えできるよう努力して参ります。よろしくお願いいたします。

井下 桂子



料金受取人払郵便

郵便はがき

9208790



差出有効期間
平成22年1月
27日まで。

金沢市御所町丑10-1
金沢星稜大学 本館1階 事務局内

学校法人稲置学園
星稜エクステンションセンター部行

学校法人稲置学園・設置各校

金沢星稜大学

石川県金沢市御所町丑10-1
☎076-253-3924(代表)
http://www.seiryu-u.ac.jp/

星稜女子短期大学

石川県金沢市御所町酉1
☎076-253-5900(代表)
http://www.seiryu.ac.jp/

星稜高等学校

石川県金沢市小坂町南206
☎076-252-2237(代表)
http://www.seiryu-hs.jp/

星稜中学校

石川県金沢市小坂町南206
☎076-252-2237(代表)
http://www.seiryu-hs.jp/

星稜幼稚園

石川県金沢市御所町寅27
☎076-252-5057(代表)
http://kinder.seiryu.jp/seiryu/

星稜泉野幼稚園

石川県金沢市泉野町6-17-30
☎076-244-5636(代表)
http://kinder.seiryu.jp/izumino/

星稜サ・エ・ラ

サ・エ・ラ(ça et là)とはフランス語で「ここそこ」「あちこち」。幼稚園から大学まで色々な場面にスポットを当てると意味で、「どこでも星稜教育が息づいている」という表しです。

編集・発行/学校法人 稲置学園 2008年1月28日発行
石川県金沢市御所町丑10-1 ☎076-253-3908 http://www.seiryu.jp
編集責任者:春本裕雄(法人課長・秘書課長)
編集担当者:上田宗津子・井下桂子・宮崎 梢(以上秘書課) 表紙:317(Aコース理系)本田修一郎ホーム